

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習 I		
担当教員	吉富 望		
対象学年	1年,2年	開講学期	前期
曜日・時限	時間外		
講義室		単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード・学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3(思考力・判断力・表現力)客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力：40% DP2(学識・専門技能)災害,テロ,国際紛争等,複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための,法学,政治学,国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能：30% DP4(主体性・多様性・協働性)多様な価値観や立場を尊重しつつ,自らの明確な考えをもとに,他者とコミュニケーションを確立する能力：30%		
教員の実務経験	陸上自衛隊に32年間勤務し、この間、第一線部隊において部隊運用に関わる実務に約11年間従事しました。また、内閣官房内閣情報調査室、防衛省防衛局、防衛省情報本部、陸上幕僚監部といった中央機関で防衛力整備、部隊運用、戦略情報に関わる実務に約11年間従事しました。加えて、防衛大学校、陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊小平学校などで教育及び研究開発の実務に約10年間従事しました。授業では、国際政治、安全保障および防衛に関する専門的な学識の習得を図りますが、政策と実務とのギャップ（政策上の課題）についても実務経験に基づいて分かりやすく教育します（第1回～15回）。このことで、生きた学識を習得するとともに、国際政治、安全保障および防衛について分析する力を高めます。		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために、必要な社会科学的研究手法を学び、学生が自らテーマを設定し、論文を執筆し、成果を発表するための指導を行います。本演習では、危機管理学、法学に関する研究手法の修得、テーマの探求、先行研究の評価、資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを扱います。これらの研究プロセスを通じて、学識・専門技能に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とします。 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 国際政治、安全保障、防衛		
授業の趣旨	■副題 国際政治、安全保障、防衛を考える（基礎編） ■授業の目的 国際政治、安全保障および防衛に関する学識に加え、判断力・思考力・表現力、更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とします。 ■授業のポイント 国際政治、安全保障および防衛に関する文献を読み込んで基本的な学識を得るとともに、現在の国際情勢にその学識を適用して問題の所在と課題への対処のあり方について、自ら説明できる能力を身につけます。また、修士論文執筆に向けた研究を進め、関係する先行研究の分析を行います。		
総合到達目標	■一般総合目標（GIO） 国際政治および日本の安全保障・防衛に関する学識・専門技能を身につけ、論理的思考力を高めるために多様な見方を養う。 ■個別行動目標（SBOs） SBO1 国際政治の見方について意見を述べるができる。（第2～12回） SBO2 日本の安全保障・防衛のあり方について意見を述べるができる。（第13～15回） SBO3 日本の安全保障・防衛に関係する国内外の情勢について説明できる。（第2～15回）		
成績評価方法	■レポート：13回（70％）：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 （評価の観点）教科書の各章について、①要約、②著者の主張、③著者の主張に賛同できる点・その理由、④著者の主張に賛同できない点・その理由、についての確かつ論理的に答えているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施します。 ■修士論文中間報告：1回（30％）：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 （評価の観点）先行研究の分析について、的確かつ論理的に報告しているかどうかを評価します。 （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施します。		
履修条件	特になし		
履修上の注意点	特になし		
授業内容	回	内容	
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の内容、スケジュール、評価方法、レポートについて確認し、授業に取り組めるようになる。（DP2, DP3, DP4） 修士論文の研究計画を確認し、計画的に研究及び論文執筆を行えるようになる。（DP2, DP3, DP4） 担当教員の实務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。	

	③予習（120分） シラバスの内容をよく読む。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、自分の学習計画及び修士論文の研究・執筆計画について検討する。
2	①授業テーマ 権力闘争の変質 ②授業概要 教科書の「序章 問題への視角 I 権力闘争の変質」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、権力闘争の本質について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「序章 問題への視角 I 権力闘争の変質」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、権力闘争の本質について自分なりの説明をまとめる。
3	①授業テーマ 国際政治の三つのレベル ②授業概要 教科書の「序章 問題への視角 II 国際政治の三つのレベル」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、国際政治の三つのレベルについて説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「序章 問題への視角 II 国際政治の三つのレベル」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、国際政治の三つのレベルについて自分なりの説明をまとめる。
4	①授業テーマ 勢力均衡 ②授業概要 教科書の「第1章 軍備と平和 I 勢力均衡」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、勢力均衡について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第1章 軍備と平和 I 勢力均衡」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、勢力均衡について自分なりの説明をまとめる。
5	①授業テーマ 軍備縮小 ②授業概要 教科書の「第1章 軍備と平和 II 軍備縮小」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、軍備縮小について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第1章 軍備と平和 II 軍備縮小」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、軍備縮小について自分なりの説明をまとめる。
6	①授業テーマ 軍備規制と一方的段階的軍縮 ②授業概要 教科書の「序章 問題への視角 III 軍備規制と一方的段階的軍縮」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、軍備規制と一方的段階的軍縮について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「序章 問題への視角 III 軍備規制と一方的段階的軍縮」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、軍備規制と一方的段階的軍縮について自分なりの説明をまとめる。
7	①授業テーマ 経済と権力政治 ②授業概要 教科書の「第2章 経済交流と平和 I 経済と権力政治」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、経済と権力政治について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第2章 経済交流と平和 I 経済と権力政治」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、経済と権力政治について自分なりの説明をまとめる。
8	①授業テーマ 権力政治と経済交流の分離 ②授業概要 教科書の「第2章 経済交流と平和 II 権力政治と経済交流の分離」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、権力政治と経済交流の分離について説明できるようになる。（DP2, DP3, DP4） （フィードバックの方法）授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習（120分） 教科書の「第2章 経済交流と平和 II 権力政治と経済交流の分離」に関するレポートを作成する。 ④復習（120分） 講義ノートを確認し、権力政治と経済交流の分離について自分なりの説明をまとめる。

	①授業テーマ エゴイズムと相互の利益 ②授業概要 教科書の「第2章 経済交流と平和 IIIエゴイズムと相互の利益」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、エゴイズムと相互の利益について説明できるようになる。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 教科書の「第2章 経済交流と平和 IIIエゴイズムと相互の利益」に関するレポートを作成する。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、エゴイズムと相互の利益について自分なりの説明をまとめる。
9	
10	①授業テーマ 強制力の問題 ②授業概要 教科書の「第3章 国際機構と平和 I 強制力の問題」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、強制力の問題について説明できるようになる。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 教科書の「第3章 国際機構と平和 I 強制力の問題」に関するレポートを作成する。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、強制力の問題について自分なりの説明をまとめる。
11	①授業テーマ 世論の力 ②授業概要 教科書の「第3章 国際機構と平和 II 世論の力」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、世論の力について説明できるようになる。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 教科書の「第3章 国際機構と平和 II 世論の力」に関するレポートを作成する。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、世論の力について自分なりの説明をまとめる。
12	①授業テーマ 国際連合の意味 ②授業概要 教科書の「第3章 国際機構と平和 III 国際連合の意味」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、国際連合の意味について説明できるようになる。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 教科書の「第3章 国際機構と平和 III 国際連合の意味」に関するレポートを作成する。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、国際連合の意味について自分なりの説明をまとめる。
13	①授業テーマ 国際社会と国内体制 ②授業概要 教科書の「終章 平和国家と国際秩序 I 国際社会と国内体制」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、国際社会と国内体制について説明できるようになる。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 教科書の「終章 平和国家と国際秩序 I 国際社会と国内体制」に関するレポートを作成する。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、国際社会と国内体制について自分なりの説明をまとめる。
14	①授業テーマ 現実への対処 ②授業概要 教科書の「終章 平和国家と国際秩序 II 現実への対処」に関するレポートの発表及び質疑応答を行い、現実への対処について説明できるようになる。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて、国際政治の現状、課題等を具体的に提示し、体系的な理解と問題意識を醸成する。 ③予習(120分) 教科書の「終章 平和国家と国際秩序 II 現実への対処」に関するレポートを作成する。 ④復習(120分) 講義ノートを確認し、現実への対処について自分なりの説明をまとめる。
15	①授業テーマ 修士論文報告(先行研究分析) ②授業概要 修士論文の執筆に向けて、選定したテーマに関する先行研究についての分析結果を発表し、質疑応答を行って今後の先行研究分析を深めるための手だてを確立できるようになる。(DP2, DP3, DP4) (フィードバックの方法) 授業時間内に解説を実施する。 担当教員の実務経験を踏まえて総評及びアドバイスを与える。 ③予習(120分) 報告を準備する。 ④復習(120分) 発表に際しての質疑応答などを踏まえて、先行研究分析を深めるための手だてを確立する。
関連科目	「危機管理法制4(行政・国家) R5MR0009」(1年次前期配当), 「危機管理法制6(行政・国際) R5MR0011」(1年次後期配当)
教科書	高坂正堯「国際政治 - 恐怖と希望」中公新書

参考書・参考URL	特になし
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 月曜日5限
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント5%；パブリックセキュリティ5%；グローバルセキュリティ85%；情報セキュリティ5% ■危機管理と法学とのバランス 危機管理90%；法学10%

